

2017（平成 29）年度

事 業 報 告 書

自 2017（平成 29）年 4 月 1 日
至 2018（平成 30）年 3 月 31 日

公益財団法人 自動車リサイクル高度化財団

東京都港区芝大門一丁目 1 番 30 号
日本自動車会館 16 階

1. 事業の概況

(1) 事業の経過及びその成果

前期3月度に一般財団法人として正式に設立し公益認定申請が完了したことから、当期においては「早期の公益認定取得」と「助成事業の実施」を推進してまいりました。

① 早期の公益認定取得

2017（平成29）年3月31日付にて内閣府公益認定等委員会に対し公益認定の申請を行い、結果として11月21日に公益財団として認定を受けることができました。

公益認定取得後、自動車メーカー等に対し寄附を依頼し、今期は8社から2,472百万円の寄附金を拠出いただくことができました。

来期は引き続き規程類の整備を進めるとともに、組織体制の拡充に取り組んでまいります。

◇ 評議員会

開催日時・場所	議 事 事 項
第2回評議員会 平成29年6月30日（金） 自動車再資源化協力機構 会議室	審議 第1号議案：平成28年度事業報告及び決算報告の件 第2号議案：定款・役員及び評議員並びに費用に関する規程 変更の件 第3号議案：評議員選任の件 第4号議案：理事選任の件 第5号議案：会計監査人退任の件 報告 (1) 助成事業支援会社選定の報告 (2) 規程の制定及び改正の報告 (3) 選考委員就任の報告 (4) 役員・評議員退任の報告
第3回評議員会 平成29年9月21日（木） 日本自動車会館 くるまプラザ	審議 第1号議案：定款変更の件 第2号議案：会計監査人選任の件 報告 (1) 規程の制定及び改正の報告 ・自動車リサイクルの高度化等に資する調査・研究・ 実証等に係る助成金交付規程 ・個人情報保護方針
臨時評議員会 平成29年12月28日（木） （書 面）	審議 第1号議案：監事追加の件

◇ 理事会

開催日時・場所	議 事 事 項
第 2 回理事会 平成 29 年 6 月 13 日（火） 自動車再資源化協力機構 会議室	審議 第 1 号議案：平成 28 年度事業報告及び決算報告の件 第 2 号議案：定款変更の件 第 3 号議案：規程の制定及び改正の件 第 4 号議案：選考委員選任の件 第 5 号議案：第 2 回定時評議員会開催の件 報告 (1) 役員・評議員退任の報告 (2) 代表理事および執行理事の職務執行状況の報告 (3) 助成事業支援会社選定の報告 (4) その他報告事項
第 3 回理事会 平成 29 年 7 月 11 日（火） (書 面)	審議 第 1 号議案：理事会承認議案一部変更について
第 4 回理事会 平成 29 年 7 月 24 日（月） 日本自動車会館 くるまプラザ	審議 第 1 号議案：規程の制定及び改正の件 第 2 号議案：第 3 回評議員会開催の件 報告 (1) 役員・評議員退任の報告
第 5 回理事会 平成 29 年 9 月 21 日（木） 日本自動車会館 くるまプラザ	審議 第 1 号議案：会計監査人の報酬の件 第 2 号議案：規程の制定及び変更の件 個人情報保護規定（制定） 情報公開規程（制定） 寄附金等取扱規程（変更） 選考委員会規程（変更） 第 3 号議案：2017 年度 公募事業実施の件
第 6 回理事会 平成 29 年 12 月 12 日（火） 日本自動車会館 くるまプラザ	審議 第 1 号議案：寄附金規程等改定の件 第 2 号議案：臨時評議員会開催の件 第 3 号議案：平成 29 年度自動車リサイクル高度化助成事業 採択の件
第 7 回理事会 平成 30 年 2 月 15 日（木） 日本自動車会館 くるまプラザ	審議 第 1 号議案：2018 年度 事業計画書（案）等の件 第 2 号議案：助成金交付規程改正の件 報告 (1) 運営資金借入金返済の件

〔寄附金受取一覧〕

企業名	寄附金額
スズキ 株式会社	450,000,000 円
ダイハツ工業 株式会社	280,801,133 円
トヨタ自動車 株式会社	520,000,000 円
日産自動車 株式会社	93,000,000 円
株式会社 SUBARU	242,559,000 円
本田技研工業 株式会社	473,486,407 円
マツダ 株式会社	212,169,990 円
フォルクスワーゲングループジャパン 株式会社	200,000,000 円
合 計	2,472,016,530 円

※ 本情報は当期事業報告並びに収支報告の公表とともに、当財団 HP にて報告いたします。

② 助成事業の実施

財団として初めての実施となる公益事業については、当期下期からの実施を目標に公益財団としての認定に先立ち公募を行い、選考委員会において当期事業として 3 件を採択いたしました。

しかしながら、公益財団の認定が当初の計画よりも大幅に遅れたため、事業開始を 12 月から延期し来期 6 月末まで実施することといたしました。

なお、2018（平成 30）年度の助成事業の公募については、2017（平成 29）年度事業の実施期間の変更を受け、7 月からの開始に向けて 2 月下旬から 3 月末にかけて実施いたしました。

来期においては、2017（平成 29）年度事業の経過管理及び 2018（平成 30）年度事業の選定並びに事業管理を実施するとともに、使用済自動車のリサイクルにおけるベースリサイクル率の実態調査や次世代自動車の適正処理に向けた実証・研究等の自主事業を実施いたします。

〔2017（平成 29）年度 自動車リサイクルの高度化等に資する事業〕

2017（平成 29）年度事業 実施概要

- ▷ 公募期間: 2017（平成 29）年 8 月 1 日～8 月 18 日
- ▷ 選考実施日: 2017（平成 29）年 9 月 21 日
- ▷ 採択/応募件数: 3/7 件
- ▷ 事業実施期間: 2017（平成 29）年 12 月 13 日～2018（平成 30）年 3 月 31 日

◇ 自動車由来樹脂リサイクル可能性実証

代表事業者: 株式会社 矢野経済研究所

共同事業者: いその 株式会社、豊田通商 株式会社

事業概要: 新車向け再生プラスチック採用拡大に向けた実証を実施。

品質改善方法、材料の安定供給に向けた体制等について実証しながらコスト検証を推進。

2017（平成 29）年度実績（2018（平成 30）年 3 月末現在）

- 事業計画:
- 回収候補部品の調査・選定を実施。
 - 選定部品を解体業者において回収し、それら回収部品をメーカー別、部品別でペレット化を行い、物性の劣化度合いを調査。
 - 部品選定においては、解体業者、プラスチック再生材メーカー等の意見も踏まえ、回収しやすく、かつ、物性確保可能で化学物質規制にも対応した部品を選定。
- 進捗状況:
- 回収を行う解体業者 6 社を選定。
 - 自動車メーカー 8 社の 7 部品（確定部品 3 品目・調査部品 4 品目）を回収することを決定。2018（平成 30）年 3 月時点で以下の数量を回収した。

部品名	数量	部品名	数量
確定部品		調査部品	
バンパー	50 台	インナーフェンダー	38 台
サイドシルガーニッシュ	43 台	マッドガード	38 台
アンダーカバー	37 台	カウルトップ類	73 台
		バッテリーカバー	60 台

所要経費: 2018（平成 30）年 3 月支払額: ¥8,474,318

◇ 全国の地域リーダーと共に実施する体験型普及啓発のための研修

代表事業者: NPO 法人 持続可能な社会をつくる元気ネット

共同事業者: なし

事業概要: 全国の地域環境活動リーダー対象に研修実施。

周知活動時のツールやマニュアル等を制作し学習会を地域で開催。

2017（平成 29）年度実績（2018（平成 30）年 3 月末現在）

- 事業計画:
- 全国の地域環境活動リーダー 20 名程度を対象に、自動車リサイクル施設の見学と学習会を実施。
 - 学習会と今後の普及啓発の場で利用できる、自動車リサイクル制度の概要等を掲載したパンフレット付小冊子を作成。
 - 見学と学習会で出た質問や意見から何をどのように伝えるかの素材として、今後の普及啓発に必要なツールやマニュアルの作成準備。
 - 2018（平成 30）年度に地域で自動車リサイクル施設の見学と学習会を実施する 2 地域の準備を開始。

- 進捗状況:
- 2018（平成 30）年 2 月に自動車リサイクル施設の見学と学習会を実施。

学習・見学会概要;

開催日: 2018（平成 30）年 2 月 19 日（月）

会場: メタルリサイクル（株）（埼玉県比企郡）

講師: 環境省 環境再生・資源循環局総務課

リサイクル推進室 環境技官 河田氏

参加者数: 20 名

- ・ 見学・学習会において、自動車リサイクル制度の概要等を掲載したパンフレット付小冊子を配布。
- ・ 見学・学習会当日の Q&A とアンケートを取りまとめ、参加者全員と情報共有。
- ・ 2018（平成 30）年度の見学・学習会を中部地域、北九州において実施することを決定。

所要経費: 2018（平成 30）年 3 月支払額: ¥1,872,143

◇ 自動車リサイクルに関する消費者への周知活動

代表事業者: 公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会

共同事業者: なし

事業概要: 属性ごとの周知ポイント、周知方法等を検討し、啓発用小冊子を全国消費者に郵送・配布。

2017（平成 29）年度実績（2018（平成 30）年 3 月末現在）

- 事業計画:
- ・ 有識者を招いた学習会を実施。自動車リサイクルの現状と課題を把握したうえで、アンケート調査票を作成。
 - ・ 一般消費者及び NACS 会員を対象に、自動車リサイクルに関する認識等についての WEB アンケートを実施。
 - ・ 属性ごとの、自動車リサイクル法/リサイクル実施状況/自動車リサイクルにおける課題等に関する認知度を把握し、周知のポイントや望ましい周知方法等について検討。

進捗状況: 2017（平成 29）年 10 月に開催したプレ勉強会において受けた指摘をもとに業界団体のスタンスを把握するための勉強会を実施。

勉強会概要;

開催日: 2018（平成 30）年 1 月 29 日（月）

講師: （一社）日本自動車工業会 リサイクル・廃棄物部会
部会長 嶋村氏

- ・ 調査事業については、2 月に 3～6 月の作業内容確認と日程を確定するとともに、質問案の抽出整理を実施。3 月には調査会社提出用アンケートフォームに調査項目の落とし込み作業を開始。

所要経費: 2018（平成 30）年 3 月支払額: ¥539,989

(2) 正味財産増減の状況

	2017（平成 29）年度 （第 2 期）	2016（平成 28）年度 （第 1 期）	増減
経常収益合計	77,590 千円	0 千円	77,590 千円
経常費用合計	26,764 千円	1,154 千円	25,610 千円
当期経常増減額	50,826 千円	△1,154 千円	51,980 千円
資産合計	2,455,892 千円	3,000 千円	2,452,892 千円
負債合計	33,465 千円	1,154 千円	32,311 千円
正味財産	2,422,427 千円	1,846 千円	2,420,581 千円

2. 法人の概要

(1) 主な事業内容

- 自動車リサイクルの高度化等に関する学術的・実践的調査・研究の推進及び助成事業
- 消費者団体等の自動車リサイクルに関する周知活動支援事業
- その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(2) 事業所

東京都港区芝大門一丁目 1 番 30 号 日本自動車会館 16F

(3) 役員等に関する事項

① 理事及び監事の氏名等

(2018（平成 30）年 3 月現在)

氏名	当法人における地位	担当または主な職業
ほそだ えいじ 細田 衛士	代表理事	慶應義塾大学 経済学部 教授
おおわだ しゅうじ 大和田 秀二	理事	早稲田大学 理工学術院 教授
きざわ りょうこ 鬼澤 良子	理事	持続可能な社会をつくる元気ネット 事務局長
むらかみ しんすけ 村上 進亮	理事	東京大学大学院 工学系研究科 システム創成学専攻 准教授
しまむら たかし 嶋村 高士	理事	トヨタ自動車 株式会社 環境部 担当部長
かわぐち しんいち 川口 慎一	理事	一般社団法人 自動車再資源化協力機構 理事兼管理部長
いど じゅんり 井戸 淳理	監事	井戸淳理公認会計士事務所 代表
なかた ちず子 中田 ちず子	監事	中田公認会計士事務所 代表

② 会計監査人

協和監査法人（代表社員・公認会計士 高山 昌茂 氏）

（4）従業員の状況

2018（平成 30）年 3 月現在の従業員は、出向職員 1 名である。

3. 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実
特になし。

以上